



聖母ニュース



編集・発行
社会福祉法人聖母会聖母病院
〒161-8521
東京都新宿区中落合2-5-1
TEL03-3951-1111
<http://www.seibokai.or.jp>



アベマリアのタペ

開催日：平成29年7月14日(金)

- 写真 左 暁星小学校 聖歌隊
- 写真 右下 合唱団 ふきのとう
- 写真 左下 聖母病院 職員有志



聖母病院基本理念

愛をもって病める人を癒されたキリストに
ない、国籍、信仰、貧富を問わず、心の通う
医療を提供して病める人々の身体的、精神
的、社会的、霊的ニーズをみとす。

聖母病院基本方針

1. 生命を尊重し、最善の医療をおこないます。
2. 地域医療機関と連携し、安心できる医療をおこないます。
3. 病院の理念に基づいて質の高い医療人を育成します。

聖書のことば

“霊”は、弱い私たちを助けてくださいます。
私たちはどう祈るべきかを知りませんが、
“霊”自らが、言葉に表せないうめきをもって
執り成してくださるからです。

ローマ 8:26

The Spirit comes to help us in our weakness,
for, when we do not know how to pray
properly, then the Spirit personally makes
our petitions for us in groans that cannot be
put into words. ROMANS 8:26

ごあいさつ

内科部長 宮本 大介

皆様、こんにちは。6月1日付で内科部
長を拝命した宮本です。宜しくお願ひ申し
上げます。私は2001年より当院に勤務し
ておりますが、昨年度は初めてといえる程
の大きな変化のあった一年でした。昨年4
月には待望の糖尿病専門医である阿部
医師が常勤医として加わり、糖尿病患者
の診療、妊娠糖尿病の管理、糖尿病フェ
スティバル等の活動にも尽力されました。
また13年間にわたり、病院長を務められ
るとともに、内科を文字通り牽引されてき
た市瀬医師(現名誉院長)が昨年6月で
退職され(週1回の外来は継続中)、甲斐
崎院長のもと、新たな体制が始まりました。
さらに本年3月には長年にわたり、内科部
長として科全体をまとめ、外来、入院診療
の要であった中村内科部長が退職されま
した。長年の両医師の貢献にこの場を借

りて感謝したいと思います。

さて、聖母病院の内科に求められるも
のとしては、質の高い専門的医療を提供
するとともに、地域の医院、病院、介護施
設との連携、協力を深め、高齢化社会に
おける様々な背景を持つ患者様及びご家
族のそれぞれのニーズに添えていくこと、
また救急患者の受け入れ等にも積極的
に取り組み、地域の急性期医療に貢献す
ること等が挙げられます。内部的には大所
帯である内科のactivityが上がることで、
院内他科との相乗効果が期待されます。
患者様に心から満足して頂き、また聖母
に行きたい、と思われるような信頼される
病院を目標とし、微力ながら努力して参り
ます。皆様のご協力とご支援を宜しくお願
い申し上げます。

133号の内容

ごあいさつ	1	患者満足度調査結果(病棟編)	3
皮膚科通信 第4回	2	外来診察表	4
整形外科通信 第4回	2	着任医師紹介 他	4

★行事予告★糖尿病フェスティバル開催のお知らせ テーマ:こんな経験ありませんか?みんなで考えよう糖尿病ブチ劇場 日時:平成29年10月28日(土)10:00~12:00 場所:聖母病院5階講義室



紫外線は味方?それとも敵?

皮膚科 小林里実

太陽の光は全ての生物に平等に与えられる恵みです。しかし、オゾン層の減少により紫外線による皮膚癌の発生が危惧されるようになりました。他方で、紫外線は現在も皮膚疾患の治療に利用されており、前回ご紹介した乾癬、脱毛症や白斑、皮膚リンパ腫(リンパ球の腫瘍)などでは大切な治療法の1つです。

地上に届く紫外線はA波(UVA)とB波(UVB)で、オゾン層でその大半がブロックされるのがUVBです。UVBは細胞のDNA(遺伝子)を傷つけ、修復しきれないと皮膚癌になると推測されています。波長の長いUVAはオゾン層を通過してしまいます。紫外線の利点は、①ビタミンDを活用できる型に皮膚で変化させてくれること。骨の成長や維持に紫外線は欠かせません②皮膚炎や皮膚リンパ腫では、余計なリンパ球を自滅させ(アポトーシス)、炎症を抑えるリンパ球(制御性T細胞)を生み出してくれることです。妊婦さんが紫外線を過度に避け

ることで赤ちゃんの骨量不足がおこることがあります。また、海水浴に行つて日差しを浴び、アトピー性皮膚炎などの湿疹が良くなった経験はないでしょうか。紫外線の欠点は、光老化です。光老化とは、UVBによる良性のシミやイボ、皮膚癌の発生、白内障のほか、UVAによるシワやたるみのことです。

タイトルの答えは、「味方にすること」でしょうか。年齢、状況で浴びる量を調節することです。野外活動の多い子どものうちに一生の半分の紫外線量を浴びるといわれており、活動時間や日焼け止め、衣服、帽子などで紫外線量を調節しましょう。曇りでも80%のUVBが届きます。標高が高い場所や雪山では特に紫外線が強いので要注意です。UVAもカットすると将来のシワやたるみを軽減できます。日焼け止めの表示を確認しましょう。医療用の紫外線療法には波長を限ったUVBとPUVA(光反応物質を塗ってUVAを照射する)があり、必要な方に、安全な量を照射しています。UVB療法を受けている方で、生活紫外線も浴びていただくよう勧める場合も15分程度。指導をお守りください。日焼けサロンの光線は単なるUVAです。利点が無く、勧めません。



ロコモティブ シンドローム

整形外科 小林亜里

蒸し暑い日が続いています。覚悟して家を出ますが、やはりきついです。整形外科医としては珍しい運動嫌いの私は、暑い夏が長く続くとメタボとロコモが合併し、高齢になると要介護状態へまっしぐらかもしれません。膝や腰が痛い患者さんには、ダイエットと筋トレを勧めながら、自分ができていないのに説得力が無いと自己嫌悪しています。

メタボは皆さんよくご存じだと思います。ロコモ(ロコモティブ シンドローム)とは、10年前、日本整形外科学会が提唱し始めたもので、運動器(筋肉、骨、関節、軟骨、椎間板など)の障害によって移動機能が低下した状態を言います。骨や筋肉の量のピークは20~30歳代で、その後、年齢とともに徐々に減少し、衰えを感じやすくなっていきます。もちろん個人差はありますが、適度な運動と十分なたんぱく質とカルシウムを含んだバランスのと

れた食事を摂ることで予防をしましょう。

適度な運動と言っても、この「適度」というのが意外に難しいのです。運動は、ゆっくりした動きで翌日に痛みが続かないような内容にすることが大切です。なるべく毎日、それが無理なら週2回は最低行いましょう。日本整形外科学会は、ロコモの予防、改善に、バランス能力を鍛える「片脚立ち」と下肢筋力をつける「スクワット」をお勧めしています。片脚立ちは、転倒しないように、よろめいてもすぐつかまれるもの(安定した机など)があるところで、また、スクワットは、椅子に腰かけ、両手を机について、立ち座りの動作をすることをお勧めします。膝を痛めないように、腰の位置がやや高めの椅子や机を使いましょう。

実は今回、10月からの整形外科の外来担当表の変更についてお知らせができればと考えていたのですが、残念ながら原稿の締め切りに間に合いませんでした。火、木、金に変更はありませんが、月、水、土に変更があると思います。9月には病院で掲示しますので、もうしばらくお待ちください。

患者満足度調査の結果(病棟編) 一部抜粋



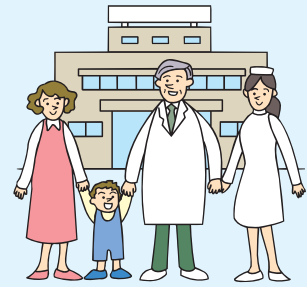
調査中ご協力いただきありがとうございました。

調査期間：平成29年2月20日(月)～25日(土)

実施病棟：2階病棟・3階病棟・4階病棟

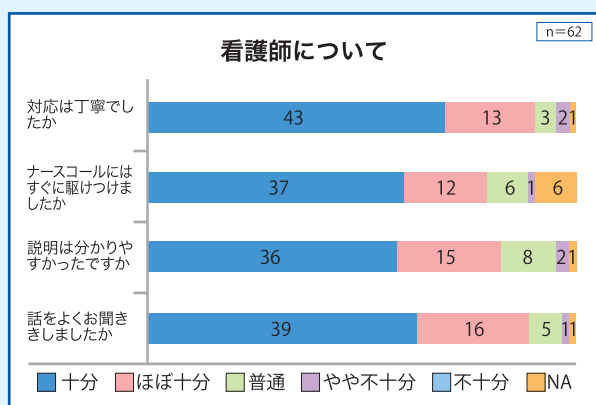
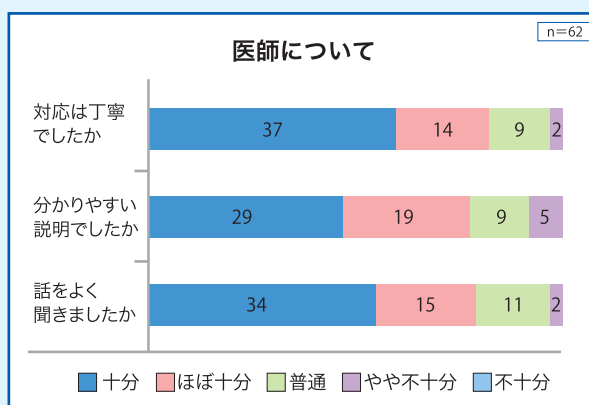
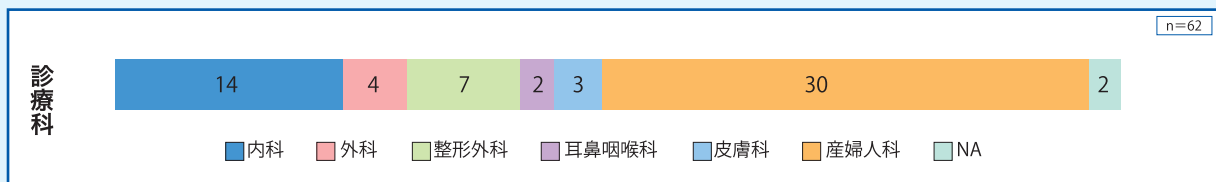
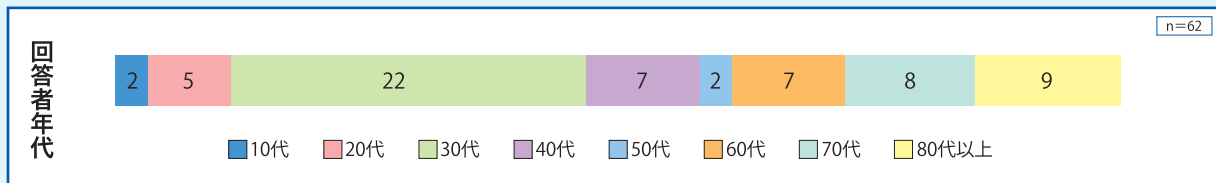
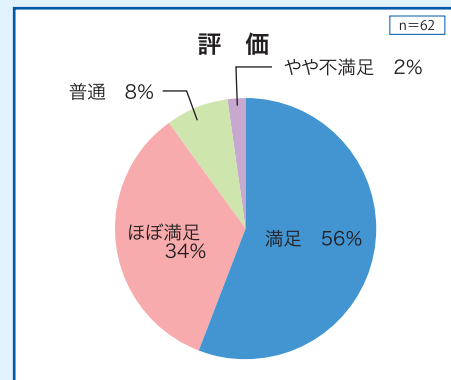
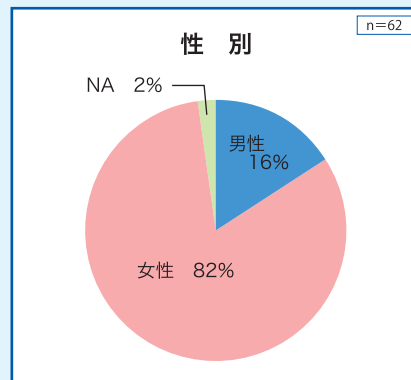
配布枚数：100枚(全病棟)

回収枚数：62枚(回収率62%)



調査結果

実施病棟	回収者数
2階病棟	15名
3階病棟	29名
4階病棟	18名



回答者の女性割合が高く、又診療科で産婦人科が高い数値となっていることは3階病棟の回答者の割合が多いことが現れた結果です。次年度は片寄が少なくなるよう実施方法を見直す予定です。

医師、看護師について、各項目十分・ほぼ十分が多く今後も評価が下がらないように努めてまいります。

全体評価で満足、ほぼ満足が90%であり昨年度同様の数値でした。今後もさらに満足していただけるよう努めてまいります。

聖母病院 患者サービス委員会

外来診察表

(H29. 8. 1～)

			月	火	水	木	金	土 (第3週休診)	
内 科	午前診療	①	濱松永昌*	松下 昌直	松下 昌直	宮本 大介	濱松永昌*	松下 昌直	* 予約制
		②	岡野 真弓	宮本 大介	勝木 俊臣	交代制	片岡 崇弘	市瀬 裕一	
		③	庫川 恵理	伊藤 直人	森野 美和子*	岡野 真弓	北濱真理子	第2 井上ゆかり*	
		④	阿部眞理子*	谷川万里子*	伊藤直人*	伊藤直人*	阿部眞理子*	交代制	
		⑤	伊藤 直人	阿部眞理子*	庫川恵理*	井上ゆかり*	岡野 真弓	庫川恵理*	
	午後診療	①		北濱真理子	勝木 俊臣	宮本大介*	宮本大介*		* 予約制
		②				坂本 智子			
		③		第2.4 岡野真弓*					
		④	伊藤直人*						
		⑤					谷川万里子*		
内 視 鏡	午 前		松下昌直(内科)	濱松永昌(内科)	濱松永昌(内科)	松延修一郎(外科)	山本 伸(外科)	交代制(外科)	
	午 後		松下昌直(内科)	松延修一郎(外科) *宮野省三(外科)	濱松永昌(内科)	濱松永昌(内科)	山本 伸(外科)		
外 科	午 前		山本 伸	宮野 省三	松延修一郎	武市 智志	米田 五大	交代 制	原則として予約制
乳腺外科	午 前		加藤 昌弘	加藤 昌弘	加藤 昌弘	菊山みずほ	甲斐崎祥一	菊山みずほ	予約制
	午 後		加藤 昌弘	神野 浩光	菊山みずほ	甲斐崎祥一			
泌尿器科	午 後		長田 浩彦			丹羽 直也			
整形外科	午前	①	小林 亜里	小林 亜里	土岐 尋江	小林 亜里	三箇島吉統	交代 制	
		②	中山 政憲	橋本 健史	中山 政憲	非常 勤		交代 制	
産 婦 人 科	午前	初 診	炬口恵理/岡崎 綾	樋口 泰彦	内田 浩	増澤 利秀	高見 紀子	西澤 安澄	全予約制
		再 診	樋口 泰彦 山内 潤 山内 美和 西澤 安澄	小野あすか 山内 潤 片岡 典子 炬口 恵理	増澤 利秀 山内 美和 岡崎 綾	山内 潤 山内 美和 岡崎 綾	樋口 泰彦 片岡 典子 炬口 恵理 西澤 安澄	増澤 利秀 片岡 典子 岡崎 綾	
	午後診療				大森 茂	樋口 泰彦 腫瘍外来	大森 茂		予約制
小 児 科	①		第1.3.4 江崎奈緒子 第2.5 大塚素子	前田 由美	江崎奈緒子	大塚 素子	江崎奈緒子	非 常 勤	* 予約制
	②		前田 由美	大塚 素子	新貝千賀子	前田 由美	高橋 美希	前田 由美	
	③		第1.2.4.5 山中聡子 第3 大塚素子			*第2(神経)石田 悠 *第4(神経)山中 岳		大塚 素子	
	④			*非 常 勤 (予防接種)	*前田由美 (予防接種)	*高橋美希 (予防接種)	*新貝千賀子 (予防接種)		
	健 診			江崎奈緒子	山中 聡子	BCG(猪野)	大塚 素子		
	1か月健診		江崎奈緒子 交代 制		猪野 雅孝 山中 聡子	前田 由美 大塚/(高橋)			
	専門外来		発達 猪野 雅孝 心臓/石井徹子 第2月曜除く	アレルギー 前田 由美	アレルギー 前田 由美 発達 猪野 雅孝 発達 山中 聡子	神経(月1回) 大澤真木子	アレルギー 江崎奈緒子 予約 大塚 素子 予防接種 高橋 美希		
精 神 科			永富めぐみ	永富めぐみ	非 常 勤	永富めぐみ	永富めぐみ	永富めぐみ	
耳 鼻 咽喉科	午前		中川 秀樹	中川 秀樹	中川 秀樹	齋藤康一郎	中川 秀樹	中川 秀樹	
			大石 直樹		第1.3.4.5 交代制 第2. 斉藤秀行		交代 制		
眼 科	午前		川嶋 真	川嶋 真	川嶋 真	川嶋 真	海田 千恵	川嶋 真	メガネ(水・木曜) コンタクト(水・木曜) 完全予約制
	専門外来		太根 ゆさ	生方 翔子	河井 明佳	落合 淳一	非常 勤	非常 勤	
皮 膚 科	午前	1 診	富永奈津子	富永奈津子	小林 里実	神田 憲子	小林 里実	第1.5 浅野聖子 第2.4 富永奈津子	予約制
		2 診	木村 景子	木村 景子	木村 景子	西山有希子	西山有希子	木村 景子	
	午後	予約外来	川上 理子	小林 里実	川上 理子	木村 景子	富永奈津子		
		専門外来	小児/川上理子 光線・学童/木村景子 富永奈津子	乾癬・掌跖膿疱症 小児/小林里実 ピーリング・レーザー	小児/川上理子 光線・学童 木村 景子	手 術	光線・学童 富永奈津子		

* 休診日：日曜、祝祭日、第3土曜日、クリスマス（12月25日）、年末年始（12月30日～1月3日）

着任医師紹介



おかざき あや
岡崎 綾 医師

- ① 出身地
- ② 卒業大学、卒業年度
- ③ 専門
- ④ 聖母病院の印象
- ⑤ 今後の抱負
- ⑥ 患者さんへ一言

- ① 徳島県 ② 山形大学 平成23年卒 ③ 産婦人科
- ④ 歴史と風情が感じられる作まいで、玄関ロビーでシスターを初めて拝見した際には心身清められる思いがしました。
- ⑤ 今まで勤務してきた病院と比較して分娩数が桁違いに多いので、より迅速で臨機応変な判断力と対応が必要になりますが、勉強を怠らず現場で経験しながら確実に身に付けていけたらと思います。
- ⑥ 患者さんに寄り添い、安心して満足していただける医療を提供できるよう日々邁進して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

介護予防講座 聖母お元気倶楽部

いきいきと
笑顔で歳を
重ねましょう



日時:2017年8月30日(水)

受付 13:15～

開始 13:30～15:30

場所: 聖母病院 5 階講義室

※事前の申込は不要です。直接お越しください。

★行事予告★糖尿病フェスティバル開催のお知らせ テーマ:こんな経験ありませんか?みんなで考えよう糖尿病プチ劇場 日時:平成29年10月28日(土)10:00～12:00 場所:聖母病院5階講義室
